

令和元年度
埼玉県校外教育協会委嘱
校外教育研究紀要

【研究主題】

「地域や保護者との協働を通して、自己用感を高める」

教育活動の展開



【学校教育目標】

自主 責任 明朗

新座市立第六中学校

〒352-0023

埼玉県新座市堀ノ内三丁目11番1号

TEL:048-478-2764

FAX:048-482-0136

E-mail : j-dairoku@c-niiza.ed.jp



1 学校の概要

新座市は、埼玉県南部に位置し、面積22.78k㎡、人口約16万4千人の中核都市である。本校は、新座市の西端に立地し、東京都と隣接しており、地域的には、西東京市や清瀬市と重なり合っている。昭和55年に開校し、今年度創立40年目を迎えた。現在614名の生徒が在籍しており、全部で18学級（通常級17、特別支援学級2）の中規模校である。「自主」「責任」「明朗」の学校教育目標を掲げ、美しい学校・静かな学校・高めあう学校を目指している。生徒会の活動も活発で、「無言膝つき清掃」「くつそろえ」「着席チャイム」にも主体的に取り組んでおり、地域から信頼される学校となるよう努めている。

2 研究の概要

(1) 研究テーマ「地域や保護者との協働を通して、自己有用感を高める教育活動の展開」

(2) 現状と課題

本校の生徒は、授業や学校生活全般において規律をよく守って生活しており、さらに近年では、地域に貢献しようとする態度が涵養され、多くの生徒が積極的に地域活動に参加している。落ち着いた学校生活は多くの生徒に安心感を与え、潤いのある生活の源泉となっており、近年は、学校行事等の機会に来校する地域住民が増加するなど、学校への信頼感も高まりつつある。

そうした成果の一方で、令和元年度の不登校生徒の在籍率は、約5%と高く、国・県の数値を上回る結果になっている。各クラスに不登校の生徒がいる状況です。不登校は入学期から多く、学年が上がるにしたがって緩やかに増加していくことに特徴がある。しかし、いじめや友人関係のトラブルをきっかけに不登校となる生徒は少なく、長期化する事例はわずかである。多くの不登校には明確な原因が見当たらず、漠然とした不安感が原因ではないかと推測される事例が多くなっている。そのため、対応が困難となっているのが事実です。

加えて、本校の学力を国、県の学力・学習状況調査の結果や南部校長会テストの結果から見ると、低位に位置する生徒の数が多く、全体として振るわないことが明らかとなっている。県学力・学習状況調査の結果からは、上位に位置する生徒の伸びが顕著で、下位に位置する生徒の伸びも堅調であることがうかがえる。しかし、中下位に位置する生徒の学力があまり伸びていないことが明らかとなっており、学力が数値的に振るわない要因の一つとなっている。中下位に位置する生徒の割合が高いことが本校の特徴であり、授業改善の重要なポイントとなっている。

このような現状を踏まえて、学校生活における生徒の様子を概観したときに、「自尊感情が低く、自分の行動に自信が持てない生徒が多い。」という特徴が問題点として浮上した。本校には学級内に居場所を作ることを苦手とする生徒が多くいる。その原因は、自分の意思を表明したり、相手の思いを認めたりする相互交流の体験が不足していることにある。これは、自ら課題を設定し、自ら解決を図ろうとする学びに対する主体性が低いことの主因であろうと予測される。そこで、「地域の力を得て生徒を育て、生徒の力を地域に活かす」取組を充実し、実践する中において、「自尊感情の高まり（わたしは、地域の中で尊い存在である。）」並びに「自己有用感の高まり（わたしは、人の役に立てる存在である。）」を引き出し、課題解決を図ることとした。

(3) 研究目的

本校が教育目標とする「自主・責任・明朗」を具現するには、「地域で生徒をはぐくむ」「地域を生徒が支える」視点を持つことが不可欠である。そこで、本研究を通じて推進する「学校・地域・保護者」間の相互補完的な取組や実践が、生き生きと学ぶ生徒の育成と、学校教育活動の一層の充実に資することを目的とする。

3 取組報告

(1) 「地域の力を学校に活かす」取組

・「学校運営協議会」の様子

本校においては、平成30年度から新座市教育委員会により「コミュニティ・スクール」の指定を受けている。未来を創り出す子供たちの成長のためには、学校のみならず、社会総がかりで教育の実現を図らねばならない。その実現に向け学校運営協議会を「コミュニティ・スクール」の中核として据え、委員にあたる地域の自治会長、学識経験者、歴代PTA会長等の皆さまに学校運営に参画いただいている。開校40年を迎えた本年度は、記念行事や式典等の企画・運営に際し、多くのご支援をいただいた。



【防災訓練等、地域行事への支援】

3町内会が校区内石神小学校を会場に合同防災訓練を10月20日(日)に実施した。今年度は地域町内会の幼児、小学生、保護者56名を参加対象とし、①キッチンペーパーを用いたマスク作り、②新聞紙・ビニール袋を用いた紙コップ作り、③ブルーシートを用いた三角テント作り、④バケツリレーの実践訓練を行った。本校生徒15名がジュニアリーダーとして参加し、小学生の訓練を円滑に行えるよう支援した。過去には規模がより大きい「地域防災訓練」にも参加した。

また、今年度は熱中症予防の観点から実施が見送られたが、校区を流れる新座市の史跡「野火止用水」の清掃事業(新座市教育委員会主催)に例年多くの生徒が参加している。市民清掃等も含むジュニアリーダーとしての活動は生徒が所定の通帳に記載し、校長が認定する仕組みになっている。

新座市 総合 防災訓練



町内会合同 防災訓練 (小学生宿泊訓練)



野火止用水 クリーン キャンペーン

・生徒会による地域活動

NEXT STAGE 信頼・自主性・つながり～さらに六中を発展させよう～をスローガンに活動を展開した。生徒へのアンケート結果の分析等を踏まえて、「小学校への働きかけ」「地域への働きかけ」に焦点を当てた取組を計画・推進した。10月の40周年記念式典、2月の市教育シンポジウムにて成果等を発表した。

【校区小学校での読み聞かせ】

【校区小学校でのあいさつ運動】



【新入生向けリーフレットの作成・配布】

【六中SNSマナーの策定・啓発】



六中SNSマナー[やまざくら]

や やめよう悪口
 ま まわりに許可を取ろう
 ざ 雑音かもよその通知【時間】
 く クリッカーついで広がるデマ
 ら らくらく特定あなたの情報

4 成果と課題

(1) 成果

地域の方と一緒に体験活動等を行うことで、地域に関する興味関心が高まった。日頃、地域や保護者の方との関わりが少ない中学生だが、たくさんの方々から見守られていることを実感できる機会となっている。

(2) 課題

校外から参加する方が固定化する傾向にあり、より多くの方が参加できるよう呼びかけを工夫する必要がある。また、コミュニティー・スクールとしての強みを生かして、学校が必要とする場面に必要な応援をできる範囲でお手伝いいただく体制を整える必要がある。